

同窓会だより



題字は故後藤淳・名古屋電気学園学園長・総長

発行 愛知工業大学名電高等学校同窓会
〒464-8540 名古屋市千種区若水 3-2-12
TEL (052) 721-0311 (代表)

輝かしい伝統を未来へ繋ぐ



永井広明会長
(昭和51年卒業)

新緑輝く爽やかな季節を迎え、会員の皆様に於かれましては健やかに過ごされることと存じます。日頃は同窓会活動にご理解とご協力ありがとうございます。昨年は令和の米騒動など諸

物価の高騰が続き、生活が益々厳しく感じられます。郵便料金の値上がりも著しく、一昨年より同窓会だより発行は、封書での郵送から、ハガキでの発行案内によりホームページからダウンロードしていただく形への変更を進めております。経費節減とペーパーレス化へのご理解と、ホームページでの会員登録へのご協力をお願い致します。それでは目を同窓生の活躍に転じましょう。

昨年は、イチローさんの日米野球殿堂入り、世界卓球では、篠塚君が男子ダブルスで見事金メダルを獲得。これらの快挙は我々同窓生としても大変誇らしい気持ちになりますね。今年度も現役高校生たちは先輩に負けない活躍をしました。バレー部が久方ぶりに春高バレー出場を果たし強豪校相手に大健闘、卓球部やフエンスング部をはじめ、数々の部が全国大会に駒を進めました。メカニカルアーツ部は3年連続世界大会で入賞。同窓会では、全国大会出場クラブの激励表彰の他、世界大会出場者への支援も奨学金給付という形で行っております。また「ザ・名電ショー」への協賛をし、会員様へ無料ご招待を実施しました。会場は久しぶりに会った同窓生達の楽しい交流の場となりました。ホームカミングデイに代わるイベントとしてさらに発展させて参りたいと思っております。諸先生、先輩方が築かれた輝かしい伝統と尊い絆を後輩達の未来へと繋いで参りますので、会員皆様のご参加とご助力を賜ります様お願い致します。

同窓生の方々を誇りとして



後藤泰之理事長
(同窓会名誉会長)

同窓生の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。名古屋電気学園は、令和7年で学園創立113周年を迎えました。これもひとえに同窓生の皆様のご理解

とご協力によるものと心から感謝申し上げます。本校は、創設者の後藤喬三郎先生が生徒に語った「誠実の人、努力の人、素直な人となれ」が名電中学・高校の校訓「誠実・勤勉」となっています。この校訓のもと、愛知工業大学とも連携して未来を担う若人の育成に邁進しております。

名電高校では、生徒の学ぶ意欲と主体性を育むべく「先端科学技術入門講座」「Meiden Labo in AIT」「課題研究」等の高大連携の取り組みや、「Meiden Quest」「キャリア・サロンの」などの特色ある教育に積極的に取り組んでまいりました。卒業後には多くの生徒が愛知工業大学をはじめ、国立公立大学、難関私立大学などへ進学しています。こういった生徒たちの輝かしい活躍を見るにつけ、私たち教職員一同、未来への希望を強く感じております。

同窓生の皆様のご活躍されている姿は、在校生の大きな誇りであり、また目標でもあります。皆様が発した伝統こそが、本校の揺るぎない礎であります。今後とも、母校が卒業生の皆様にとって、いつまでも心の拠り所となるよう、さらなる教育環境の充実に努めてまいります。つきましては、後輩たちへの温かいご指導や、同窓会活動を通じた母校との連携に、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、同窓会の益々のご発展と、同窓生の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

『同窓会だより』ペーパーレス化ご協力のご案内

「同窓会だより」は、公式ホームページより、ダウンロードが可能となっております。将来的には「同窓会だより」発行は、メール送信でご案内させていただく予定です。ホームページからのメールアドレス登録に、ご理解ご協力の程お願い申し上げます。
※紙媒体の郵送をご希望の会員様はホームページより承ります。

URL <https://meiden-alumni.jp>

名電高校同窓会

検索

詳しくはこちら▶▶▶



イチローさん日米野球殿堂入り・記念座談会

邦人初となるイチローさんの日米野球殿堂入りを受けて、令和7年11月に後藤淳記念球場（春日井市総合運動場内）で座談会を開催。レジェンドの当時を知る方々に思い出を語っていただきました。

偶然の出会いから名電へ

広報委員会（以下、広報） 皆さん、よろしくお願ひいたします。当時の思い出を聞かせてください。

水野恭佑さん（以下、水野）

鈴木一朗を名電に紹介したのは、私なんです。当時の私は、野球の上手な中学生を名電に連れてきていました。中村監督に「いい選手がいたら教えて」と言われて、スカウトではなく、ボランティアです（笑）。
広報…どこで出会ったのですか。

水野…山崎武司（昭和61年卒業）が中日に入団して、1月に沖繩キャンプへ行くため、空港へ車で送った帰りです。原っぱみたいな球場で中学生がキャッチボールをしていました。

広報…その中にイチローさんがいたんですね。

水野…そう。体は細いの遠投では真つすぐの鋭いボールを投げる子がいた。気になって後日に練習試合を見に行くと、三番で投手。とても速い球を投げて、しかも球場の外にある家へ飛び込む本塁打を打った。それから何回か見に行くうち、よく会う人に話しかけたら、イチローの親父さんでした。

広報…偶然の出会いが重なりましたね。

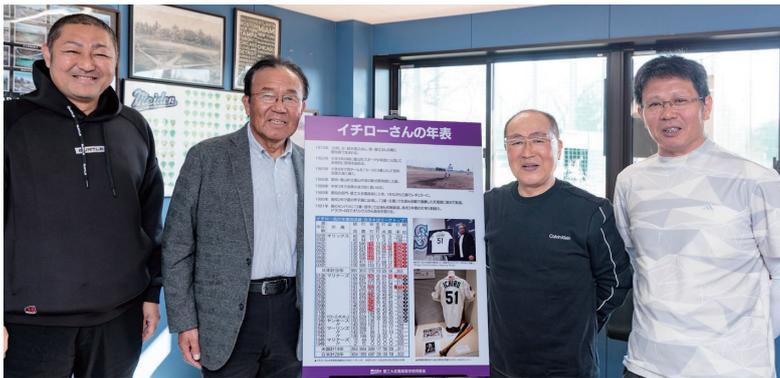
水野…それで、中村監督と親交があることを伝えました。親父さんは「名電など無理です」と言いましたが、私は名電のコーチを連れてきて見てもらったり、監督にも話をしました。

広報…それで入学することになったのですか。

水野…とんでもない。監督は「そんないい選手が県内におるわけない」と信じてもらえなかった。私も意地になって、絶対に名電へ連れてくると断言（笑）。したらイチローのチームが

座談会

イチローさんの思い出を語る



左から、安藤さん（チームメイト）、杉浦さん（野球部OB・OG会会長）、水野さん、畑さん（チームメイト）

中学校の全国大会に出場、全国的に注目を集めた。当然、強豪校からも声がかかるようになりました。

広報…焦りましたね。

水野…その頃イチローは「プロに行きたい」という気持ちを持っていました。当時、名電からプロ野球選手が何人か誕生していたので、私は監督に電話しました。そしたら「うちに来ればプロに行けると言ってくれ」と言われて、親父さんに伝えました。それで夏休み中に親父さんがイチローを連れて名電に見学に来たんです。監督は体の線が細いと少し気にしていました。が、なんとか説得して名電に決まった。成績も音楽以外はオール5で、勉強特待で入学。そんな子は名電始まって以来ですよ。

レジェンドの高校時代

広報…畑さんと安藤さんは同学年ですね。

畑憲作さん（以下、畑） 私は捕手で、安藤は投手でした。

安藤祐嗣さん（以下、安藤） とにかく、ずば抜けて野球が上手かったですね。畑…全体練習が終わると、

体を強くするためウエイトトレーニングをよくやりました。当時からプロ志望でしたが、自主練習は全然していませんでした。

安藤…がむしろにやっていたイメージは全く無かったですよ。本人は今でも「俺が一生懸命に練習やっていたことなかったよね」ってよく言ってますね。

杉浦克敏さん（以下、杉浦） 練習嫌いだっただんですか。

水野…いや、陰でものすごく練習していたよ。出会った頃に手を見たら、真つ赤で豆だらけだった。「すごい努力してるな」と言ったら「僕やってません」と謙遜していたけどな。

安藤…じゃあ、チームみんな騙されてたね（笑）。

水野…夜中にバットを振ったよ。人一倍やらなきゃ、あんなにならんよ。
畑…高校時代の通算打率は5割以上、最後の夏の大会は7割5分でした。

安藤…決勝で東邦高校と戦って0対7で負けただけ、イチローの打席は全部四球。相手投手は勝負しなかったからね。

畑…あと偏食でした。野球部は厳しい寮生活です



(写真:日刊スポーツ/アフロ)
プロ3年目、NPB史上初の210安打で、首位打者、
最多安打、最高出塁率、MVPなど数々のタイトルを獲得。

が、野菜は食べなかった。
深谷(篤さん。同学年で主
将・現NPB審判員)にあ
げていました(笑)。親父
さんが差し入れたスナック
菓子やカップ麺を夜中に隠
れて食べていました。
安藤:今は野菜食べていま
すけどね。

オリックスからMLBへ

水野:オリックスに入団し
てから、先輩の藤井(康
雄)選手(現中日二軍コー
チ)が打撃を見て驚いとつ
たよ。バットを見ると全て
芯の部分、同じ所がすり
減っているんだから。
畑:高卒でそんな選手はい
ないですよ。
水野:練習試合をいくつ
か終えた後「プロはどう
や」って聞いたけど「たい
したことないです」と。
安藤:「高校時代の調子の

いい時と変わらん」とも
言っていましたね。

水野:最初は土井監督に苦
労していたよ。振り子打法
のフォームを変えろと言わ
れていた時もあったしね。
でも、その後すぐに仰木監
督に変わったでしょう。あ
れが良かったんだわ。

畑:仰木監督が登録名を
「イチロー」に変えてプロ
野球人生が変わりましたよ
ね。

杉浦:その後は、当時の最
多安打記録を作ったり、野
手で初めてメジャーへ挑
戦。結果を残して、まさに
前人未到の活躍でした。

安藤:イチローは有言実行
の人。大学時代にプロ野球
ニュースでのインタビュウ
を見ていて、夢を聞かれた
時「球場全体が自分だけを
応援してくれること。で
も、相手もチームもいるか

ら無理だね(笑)」と言っ
ていた。当時はとんでもな
い事を言っているなど思っ
たけど、東京ドームでの引
退試合ではそれが現実にな
った。

バックネットの思い出

水野:あの日は東京ドーム
のバックネット裏でイチ
ローを見ていたよ。出会う
た頃を思い出して、すごい
人になったなと感慨深かつ
た。私は、イチローと出
会って家族と日本全国、ア
メリカもいろんな球場に応
援に行きました。外野席で
旗を振ったり、横断幕を
作ったり、本当に楽しかつ
たよ。球場でファンから
「イチロー」と声援を聞く



2019年3月21日マリナーズ対アスレチックスの試合後に東京ドーム内でファンに
別れを告げた。(Photo by Alex Trautwig/Getty Images)

と我がことのように嬉しく
てね。
広報:そして2025年に
日米野球殿堂入りとなりま
した。
杉浦:引退後は、高校生へ
の野球指導で2024年に
1回、2025年には2回
も名電に来てくれました。
心より感謝申し上げます。
広報:皆さん、今日は貴重
なお話をありがとうございました。

【文責:広報委員会】



すぎうら かつとし
杉浦 克敏さん
(昭和52年普通科卒業)
愛工大名電高校
野球部OB・OG会会長



みずの きょうすけ
水野 恭佑さん
(昭和41年電気科卒業)
才能を見出し
入学に尽力



はた けんさく
畑 憲作さん
(平成4年普通科卒業)
投手時代の球を
受けた「女房役」



あんど ゆうじ
安藤 祐嗣さん
(平成4年普通科卒業)
最後の夏を共に
戦ったチームメイト

【イチローさんプロフィール】

- 1973年 10月愛知県で生まれる。
- 1982年 小学3年の時に豊山町スポーツ少年団に入団して本格的に野球開始。
- 1985年 小学6年で同チームを「エースで4番」として初の全国大会に導く。
- 1986年 愛知・豊山町立豊山中学の軟式野球部に入部。
- 1988年 中学3年で全国大会3位に食い込む。
- 1989年 愛工大名電高校に入学。1年ながら代打や外野手などで出場。
- 1990年 高校2年で夏の甲子園「3番・左翼」で先発も初戦で優勝した天理高に敗れて敗退。
- 1991年 春のセンバツに「3番・投手」で出場も初戦敗退。オリックスからドラフト4位で指名。
- 1992年 NPB日本9年間 951試合 3,619打数 1,278安打 118本塁打 529打点 199盗塁 打率.353
- 首位打者7回、最多安打5回、最多打点1回、最多盗塁1回、最高出塁率5回、新人王、
- 2000年 MVP3回、ゴールデングラブ7回、ベストナイン7回
- 2001年 MLB米国19年間 2,653試合 9,934打数 3,089安打 117本塁打 780打点 509盗塁
- 打率.311 首位打者2回、最多安打7回、最多盗塁1回、新人王・MVP1回、ゴールデングラブ10回
- 2019年 シルバースラッガー3回
- 日米通算: 3,604試合 13,553打数 4,367安打 235本塁打 1,309打点 708盗塁 打率.322



日本人初の米野球殿堂入り。背番号51はマリナーズの永久欠番に。
(Photo by Steph Chambers/Getty Images)

祝・世界卓球2025ダブルス優勝



愛工大小体育館にて

インタビュー
篠塚大登さん
(令和4年普通科卒業)

2025年5月、篠塚選手は世界卓球の男子ダブルスで日本勢として64年ぶりの金メダルを獲得しました。愛工大の練習場で取材を行いました。

フィジカル鍛え欧州へ

広報委員会(以下、広報)・

2025年は大活躍でした。

篠塚選手(以下、篠塚)・

ありがとうございます。広報・昨年と比べて体がたくましく、一回り大きく感じます。世界王者の風格でしようか。

篠塚・いえいえ(笑)。最近ではウエイトトレーニングを週2回くらい重点的に行っていきます。パワー負けない筋力を養う意識で取

り組んでいますね。篠塚・昨年はTリーグの沖縄「琉球アステイター」でチーム初優勝に貢献した後1シーズンで退団し、今はドイツ・ブンデスリーガで戦っているとか。篠塚・はい。ドイツには欧州のトップ選手が集まっています。上を目指すための挑戦です。

二人で金メダルを取ろう

篠塚・世界卓球について聞かせてください。

篠塚・五輪で悔しい思いをしたので、この大会ではメダルを目指して臨みました。ダブルスでは敗れましたが、ダブルスでは気持ちよく切り替えました。相手は強豪ばかりでしたが、事前の組み合わせを見たときに、コーチと戸上(準輔選手)さんと3人で「ダブルスが一番メダルのチャンスがあるよね」と話していました。

篠塚・3回戦のシングルポール戦に競り勝って、準々決勝ではエジプトに勝利。ベスト4に進みました。

篠塚・ここで準決勝のフランスが棄権となり、運にも恵まれました。

篠塚・決勝の相手は優勝候補の中国、フランスを破った、中華台北のペアでした。

篠塚・このチャンスを逃したら次は無いと思って、戸上さんに「二人で金メダルを取ろう」と話して必死にプレーしました。対戦相手の動画は試合前に見て対策はしていましたが、それはお互い様です。その上で、試合の中でどう対応していくかが大事です。

篠塚・メンタル面で重視したことはあるでしょうか。

篠塚・迷わないように心がけていました。以前は、競っている時に迷うことがありましたが、自分が強気で戦いきることができれば、勝機はあると思って臨



世界卓球での表彰式。左が篠塚選手、右は戸上選手。(Photo by NurPhoto/Getty Images)



「強気で戦うことができれば、勝機はある」と語る(愛工大小体育館にて)

みました。劣勢でもマイナス思考にならず冷静に相手の弱い所を見つけて攻めることができました。

64年ぶりの金メダル

篠塚・大接戦を制して日本人選手としては実に64年ぶりの優勝でした。

篠塚・コーチやスタッフの皆さん、選手たちからのサポートがあつてのことです。感謝ですね。

篠塚・さらに12月の混合団体ワールドカップ2025にも出場し、団体銀メダル。これからは、追われる立場ですね。

篠塚・シングルスでは上位に行けていませんし、若い

選手も多くなり、まだまだ挑戦者の立場です。

篠塚・今後の目標を教えてください。

篠塚・今は世界ランキング28位くらいに上がりましたが、今年も20位以内が目標です。今後とも応援をよろしくお願いします。

篠塚・篠塚選手、本日はありがとうございました。

【文責・広報委員会】

【篠塚大登さんプロフィール】

愛知県東海市出身▶戦型:左シェーク裏裏のオールラウンド攻撃型▶高校教師の父が卓球顧問になったことをきっかけに、5歳から近所の卓球クラブで卓球を始める。▶小学校1年生で名門・卓伸クラブに入り、全日本レベルの選手へ成長。▶愛知工業大学附属中学校、愛知工業大学名電高校を卒業し、現在は愛知工業大学 経営学部 経営学科スポーツマネジメント専攻4年

主な戦績

2013年	全日本卓球選手権大会カブの部男子シングルス2位	2024年	全日本卓球選手権大会 混合ダブルス優勝、男子シングルス3位
2015年	全日本卓球選手権大会ホーブスの部男子シングルス3位	2024年	世界卓球選手権大会(団体の部)ベスト8
2017年	JOCジュニアオリンピック全日本選手権大会 カデットの部男子ダブルス優勝、14歳以下シングルス優勝	2024年	パリ2024オリンピック競技大会団体4位
2019年	インターハイ学校対抗優勝、男子シングルス2位	2025年	全日本卓球選手権大会 男子シングルス2位
2021年	全日本卓球選手権大会ジュニアの部男子シングルス3位	2025年	世界卓球2025ドーハ 男子ダブルス優勝(篠塚大登/戸上準輔ペア)
2021年	世界ユース卓球選手権大会U-19混合ダブルス優勝	2025年	混合団体ワールドカップ2025準優勝
2022年	全日本卓球選手権大会(団体の部)優勝	2026年	全日本卓球選手権大会男子シングルス2位、男子ダブルス優勝(篠塚大登/谷垣貞真ペア)
2023年	全日本卓球選手権大会男子シングルス2位		
2023年	アジア卓球選手権大会男子ダブルスベスト8		

同窓生の奮闘

ご縁を紡ぐお手伝い

市川典明さん

(昭和52年普通科卒業)



地元の市民オーケストラではチェロを担当

恩師に感謝「奏でる喜び」

在学中の思い出は、何と言っても所属していた吹奏楽部での二度の海外演奏です。素晴らしい活動の場を与えてくれた名電高に感謝するばかりです。

一度目は、中国との国交が正常化して間もない昭和51年。日中友好の親善使節団として、北京・上海での演奏会や学校訪問で、温かい歓迎を受けたことです。二度目は、吹奏楽の全国高校選抜の団員としてアメリカ合衆国独立200年祭に参加し、主要都市で演奏したことです。サンフランシスコ、ニューヨーク、フィラデルフィア、ロサンゼルス

ス等での経験は、同時に日本全国から集まった仲間との交流の場となり、貴重な時間をすごせました。

その後、大学在学中にチェロを習い始め、現在は地元の市民オーケストラで活動をしています。長く音楽を続けられているのは、高校時代の吹奏楽部顧問、故・松井邦雄先生の熱心なご指導のおかげです。

ご縁について思う日々

大学卒業後は家業の材木商を経て、先祖代々お守りしていた地元の神社からご縁をいただき、50歳で神職の道を歩むことになりました。現在は宮司として地域と人とのご縁を大切にしながら奉職しています。信仰も音楽も長い時の流れの中、人と人とのご縁を紡いでいるものです。これからいければ幸いです。

【文責 広報委員会】



愛知県蒲郡市にある神社で宮司を務める

パリで日本語教師に

林あゆみさん

(平成17年普通科卒業)



パリで日本語教師の仕事と子育てに奮闘する林さん

絆深めた貴重な時間

高校時代、学校祭は楽しかった思い出の一つです。クラスで出し物をするために、授業後に残って練習をしました。多くのクラスメイトと話すきっかけができたり、クラスの絆が深まったりと、学生時代ならではの貴重な時間でした。特に3年生の時は、ちょうど大学の合格発表の直後で、受験のプレッシャーから解放され心から楽しめたことを



名電高校時代の学校祭でのクラス集合写真

覚えています。生徒の質問に衝撃を受けて

実家でホームステイ受け入れの経験があり、外国人と関わることに興味がありました。留学生の多い立命館アジア太平洋大学に進学し、在学中は市役所の日本語ボランティア教室で活動をしていました。しかし母語である日本語について、生徒さんたちの質問に答えられなかったことがショックで、それが日本語に深く興味を持つきっかけとなりました。その後、日本語教師養成講座を修了、日本語学校での勤務を経て、結婚を機にフランスに移住。パリで日本語教師として、子どもから大人まで幅広く個人指導をしています。

世界を目指す人を応援

今後は「登録日本語教員」という2024年に日本で創設された国家資格の取得を目標にしています。長期的には、海外で暮らす日本にルーツを持つ子どもたちへの授業や、私のように海外移住し日本語を教える方々への指導法の共有にも取り組んでみたいと考えています。

【文責 広報委員会】

令和7年度役員総会

6月6日(金)名古屋市内のホテルにて、令和7年度同窓会役員総会が開催されました。令和6年度事業報告・承認の後、令和7年度の事業計画(案)と収支予算(案)について審議、承認されました。

同窓会新役員紹介



副会長 陣内弘久さん (昭和60年卒業)

会長を補佐し会員皆様の声を大切にしながら、組織全体の円滑な運営と、さらなる発展に向け、誠心誠意取り組んでまいります。



副会長 柏太輔さん (平成4年卒業)

在学中はバレーボール部に所属しており、卒業後は先輩方から「ご縁」をいただきました。成長させていただきました。このご恩は母校の発展に尽力してお返しする所存です。

クラブ活動報告

メカニカルアーツ部

3大会連続の日本代表 2年連続世界3位の快挙

令和7年8月24日、東京都で開催された全国大会「WRO 2025 JAPAN 決勝大会」において、堀田壮真・松浦蒼也・猪俣健悟(3年)による「meiden3年」チームが優勝しました。さらに日本代表として出場した11月開催の世界大会(シンガポール)では、RoboMissionシニア部門において、2年連続となる世界第3位の成績を収めました。

RoboMissionとは、完全自動で動作するロボットにより、指定されたフィールドで、さまざまな課題(ミッション)のクリア(例えば、指定場所へ正確に移動する、物を運ぶ、決められた順番で複数作業



世界大会でのmeiden3年チーム
左から、猪俣、松浦、堀田

を行う等)を目指し競技です。競技中、人によるロボット操作は一切認められていません。「プログラム通りに動くか」が勝負となります。また、単に勝ち負けを競うものではなく「考える力」「ものづくりの力」「プログラミングの力」、そして失敗を次につなげる「失敗から学ぶ力」の育成も大きな目的です。そのため、コーチ(大人)による機材製作や競技中の操作は禁止で、生徒自身の力が試されます。また、大会当日には追加課題やルール変更もあり、即応力も必要です。

3人は、厳しい条件の下日々の学びで培った力を発揮し、成果に繋がりました。卒業後、彼らは愛知工業大学へ進学予定です。今後はさらに専門性を深め、世界での活躍を期待します。

卓球部

卓球部は第94回全国高等学校総合体育大会(インターハイ)において、平成28年から続く大会史上初の学校対抗9連覇を懸けて大会に臨みました。

3回戦で大きな山場を迎



シングルス3位の面田(3年)

えました。相手の新産大附(新潟)は、過去に遊学館(石川)の北信越大会20連覇を阻止した学校でしたが、3対2で接戦を制しました。しかし準決勝で育英(兵庫)に1対3で敗れ、決勝進出とはなりませんでした。

選手たちは8連覇の重圧を跳ね除け、堂々と戦いました。誇りに思います。

個人戦は、シングルスで面田知己(3年)が3位、ダブルスでは面田知己(3年)・持田陽向(2年)が5位入賞の結果でした。

バドミントン部

9月に北海道釧路市で開催された第44回全日本ジュニアバドミントン選手権大会・個人戦女子ダブルスに、中尾心晴(2年)・富田紗来良(2年)が出場。

女子バドミントン部として初の全国大会出場を果たしました。地区予選では県上位の実力者との戦いが続き、マッチポイントを握られるなど難局を乗り越え勝利、全国への切符を手にし

ました。直前の怪我などアクシデントに見舞われながらも、本大会では全国の強豪相手に堂々と戦い、2回戦敗退ながら貴重な経験を積みました。応援ありがとうございました。



愛知県優勝の中尾・富田ペア

フェンシング部

第49回全国高等学校選抜フェンシング大会(令和7年3月21〜23日・長崎県島原市)女子サーブル学校対抗戦で3位となりました。

高橋・橋村・木村(3年)の3名は、1回戦の王子総合(東京)に45対32、2回戦は安来(島根)に45対23で勝利。準々決勝では立命館(京都)との45対43の大接戦を制しました。準決勝は鹿児島南に36対45と惜敗

でしたが、大舞台で強さを示しました。また国民スポーツ大会少年男子では、西村(3年)・田中・室屋(2年)の3名が愛知



全国の舞台上活躍したメンバー

県代表で出場。予選突破し、全体2位で決勝トーナメントへ進出、準々決勝で香川県、準決勝で東京都に勝ち決勝へ。決勝は京都府に1対2で敗戦も、全国2位という大きな成果を残しました。

バレーボール部

3年ぶりに愛知県代表決定戦を制し、春の高校バレー全国大会(令和8年1月5日)から東京体育館で開催)へ出場しました。本大会は、従来のスポーツコース中心の体制から特進選抜コース・普通コースへと教育方針を転換後、初めての春高全国大会でした。大会では1回戦で大阪代表の常翔学園高校に勝利、2回戦ではインターハイ優勝校・熊本代表鎮西高校と対戦し惜敗するも、強豪相手に1セットを奪う健闘を見せ、全国に実力を示しました。学業と競技の両立を重視する中での確かな成果に、大きな手応えを感じました。



1回戦勝利の男子メンバー

ボウリング部

文部科学大臣杯第32回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会には、岡田有翔（3年）・橋本篤輝・清水武（2年）のAチームと、種村純汰（2年）・吉田海翔・向翔音天（1年）のBチームが出場。Aチームは日本代表の橋本を擁して優勝を目指しましたが、奮闘するも入賞できませんでした。高校から始めた生徒ばかりのBチームは、大会の雰囲気にも負けず堂々と挑み、来年につながる経験を積んだと思います。



全国大会に挑んだメンバー

チアリーディング部

JAPANCUPチアリーディング日本選手権大会では、過去最高だった昨年度の6位に次ぐ7位入賞を果たしました。地区予選の中部地区大会では高校部門11連覇中、大学・社会人を含む総合部門でも2連覇中です。

部員は、未経験者が多い少人数のチームですが、

次の大会に向けて練習を重ねていきます。5位入賞を目標に団結し、日々切磋琢磨しています。



THUNDERSの演技風景

ウエイトリフティング部

今年度はインターハイに4名が出場。女子は大河内（2年）、男子は松川・中山・森岡・大野（3年）で、うち2名の松川・中山が国民スポーツ大会の選手に選ばれました。いずれも初の全国大会出場で、本来の実力を発揮できませんでした。が、メンバーには2年生もあり、3月開催の全国選抜大会出場を目指し、日々練習に励んでいます。



「闘魂」の部旗を背に健闘を誓う

ダンス部

第18回日本高校ダンス部選手権に出場し、スモールクラス全国準決勝大会（2025年8月19日・パシフィコ横浜）でベスト8

に入賞。出場権を獲得した全国決勝大会（9月7日・日本工學院アリーナ）では最終8位となりました。4年連続で全国ベスト8入りを達成し、最近はイベントへの出演依頼が増加しています。ダンス部公式インスタグラム（フォロー約8000人）で活動の様子をぜひご覧ください。



スモールクラスのメンバー

吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール（令和7年10月19日・宇都宮市文化会館）および全日本マーチングコンテスト（11月23日・大阪城ホール）に連続出場し、両大会で銀賞を受賞しました。令和8年1月7日には日本特殊陶業市民会館フォレストホールで第61回定期演奏会を開催。今後も部員一同研鑽を重ねてまいります。



毎年好評の定期演奏会

将棋部

将棋部は1月29日～31日に山形県天童市で開催の第34回全国高等学校文化連盟将棋新人大会に平松（1年）が出場。昨年5月の愛知県予選では悔しい思いをしましたが、11月の愛知県個人予選では準優勝し出場枠を獲得。部員や卒業生の協力を得て切磋琢磨し、全国大会では上位入賞を目指します。

スキー部

令和8年1月4日～6日に志賀高原横手スキー場で開催された第79回愛知県高校総体スキー大会ノルディック競技で、男子は10kmフリー・クラシカルの両種目で1～3位を独占し7年連続の総合優勝を果たしました。女子も5km両種目で優勝し他を圧倒しました。これにより6名の選手が、2月5日より新潟県で開催される第75回全国高等学校スキー大会へ出場することが決定しました。



全国大会に進むメンバー

同窓会からお祝い

令和7年度、高校のクラブ活動などに激励とお祝いをしました。

卓球部、バドミントン部、フェンシング部、ボウリング部、ウエイトリフティング部、バレーボール部、ダンス部、チアリーディング部、吹奏楽部、サッカー部、相撲部、将棋部、メカニカルアーツ部、スキー部、篠塚大登選手

令和7年度卒業クラス幹事のみなさん

- 【科学技術科】
 - A組 増田郁人・山本海翔
 - B組 萩巢那柚・日比野由奈
 - C組 加藤零大・村上紀行

【情報科学科】

- A組 澤 和史・西脇昂輝

【普通科】

- A組 大館由依・宗田真緒
- B組 大野友理乃・田中真央
- C組 春田美咲・松岡佑真
- D組 金澤稜真・宮木斗矢
- E組 鈴木楽太郎・北折矢輝
- F組 木下舜次郎・深見香介
- G組 荻洲陽向・田中麻友香
- H組 定月珠里・松村考祐
- I組 朝日亮多・中神太志
- J組 川成李苑・永田颯大
- K組 岡本力哉・柳本怜大
- L組 奥井咲之祐・中村章臣
- M組 小島大輝・保谷泰志
- N組 水谷李香・山根直将

【文責 広報委員会】

校長より学校報告



荻原哲哉校長

同窓会の皆様には日ごろから格別のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本校はキャリア教育の一環として、幅広い分野から社会人をお招きして職業生活の実践について話を伺う「キャリアサロン」を開催しています。2年前までは授業後に希望生徒のみが参加する小規模な形でしたが、生徒のモチベーションを高める効果が大きいことから、昨年度から全1年生を対象に授業時間帯の中で実施しています。

講師は本校の卒業生にお願いしています。令和7年度は、ITエンジニア、設計事務所社長、国土交通省職員、JR社員、看護師・助産師、公立学校教員、海上保安官、語学教師、ボクシングジム経営者、商工会議所職員、半導体メーカー研究者、ゼネコン社員、印

刷会社社員、元プロ野球選手、元劇団員など、多岐にわたる分野で活躍しておられる18名の卒業生に延べ27回のサロンを開いていただきました。

講師ご自身の、時に起伏に富むキャリアについてお聞きしたり、それぞれの仕事の難しさ、失敗談、やりがいなどを伺ったりすることで、生徒は自らの将来を思い、進むべき道について考え、日々の学習への意欲を高めています。今後も生徒たちにさらに多様な出会いの場を設けていけるよう一層の充実を図っていきたいと考えています。皆様の中で講師を引き受けていただけの方がございましたら、ご連絡をいただければ幸いです。どうかよろしくお願いいたします。

なお、私こと、この3月末をもって林原健二新校長にバトンを渡します。在職5年の間、永井会長様はじめ同窓会の皆様にはたいへんお世話になりました。厚くがとうございました。厚く御礼を申し上げますとともに、今後とも末永く本校へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

高校PTAから



萩野谷 真弓 高校PTA会長

同窓会の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。皆様には日ごろからPTA活動に際し、様々な方たちでお力添えを賜り、心より感謝いたしております。

令和7年度高校PTA会長を仰せつかっております萩野谷 真弓（はぎのやまゆみ）でございます。歴史ある愛知工業大学名電高等学校のPTA会長を務めさせていただき、大変光栄に存じます。

さて、今年度のPTA活動といたしましては、文化祭模擬店出店、進路研究会（2年生保護者対象）、校外パトロール（年2回実施）を主軸に行いました。とりわけ毎年ご好評をいただいております進路研究会ですが、今年度は先生方とベネッセコーポレーション様にご教授いただき、実り

多い時間となりました。ご参加くださった保護者の皆様は総じてメモをとったり、質問をしたりと大変ご熱心な様子でした。

卒業生の皆様が築いてこられた輝かしい歴史と伝統は、在校生の大きな目標であり誇りです。そして、長年にわたる皆様からの温かいご支援は、生徒たちにも確実に受け継がれております。今後も無限の可能性を秘めた名電生の健やかな学びと成長のために、変わらぬご協力をお願い申し上げます。PTAといたしましても同窓会の皆さまと一緒に、より良い教育環境を築くための架け橋となれるよう、役員一同、誠心誠意努めて参ります。

末筆ではございますが、同窓会のさらなる発展、皆様のご健勝とご活躍を心より祈り申し上げます。

おみやみ申し上げます

近藤欽司さん（昭和36年卒業）

元卓球全日本女子監督

令和7年7月22日に逝去されました（享年83歳）。高校時代にインターハイ団体優勝、国体優勝。卒業後は指導者として活躍。同窓会主催イベントで講演いただきました。

【話題や情報を募集しています】

同窓会だよりでは、活躍、奮闘する同窓生を紹介しています。自薦、他薦は問いませんので、皆様の情報提供をお待ちしております。

— お問い合わせ先 —

メール:dousoukai@meiden.ed.jp
電話:052-721-0311



「ザ・名電ショー」に協賛
2025年12月23日フオ
レストホール(名古屋市民
会館)で開催の「ザ・名電
ショー2025」に協賛し
ました。同窓会の会員様へ
ホームページで先行予約を
行い150名を無料招待
いたしました。今年度も12
月に開催
予定です
ので、お
申込は同
窓会ホー
ムページ
よりお願
いいたし
ます。